学校名	綿内小学校

ホームページＵＲＬ http://www.city.nagano.nagano.jp/school/watauchijs/	児童・生徒数　315 名

(1) テーマ

「私たちの青い目の人形」

テーマの分類（ ①－オ ）

下記の欄外記載事項を参照してください。

(2) 活動の単位に○をつけてください

学級・同一学年・３～４年

その他（ ）

該当学年　５ 年

（回答可能な場合）

(3) 活動のねらい

①人形に託された思いや戦争中も人形を守った人々の思いを見つめ調べることから、国や国籍を越えて人としてのあり方を学ぶ

②身近な調査活動の中で、自分たちの力で見通しを持って解決していくおもしろさを活動の中で学ぶ

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）

①地域内７５才以上のお年寄りへのアンケート調査②不明だった人形の名前を明らかにする
③電話での人捜し（１５０軒かけて３軒見つかる）④インターネットでの資料集め
⑤人形に込められた思いを手紙で調べる。
学年全体で分担したりクラス内で分担したりして調査を進めている。 時数（４０の予定）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）

①地域の７５歳以上のお年寄りからの協力（約１５０名）
②電話で探し当てた方３名の協力
③学年及び関係する情報は全職員から提供を受ける。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）

①６年生での歴史学習での位置づけ
②アンケートや手紙などで知り合った方々への心を込めた返信をきちんとおこなうこと

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

①調査活動への取り組み方も大きな評価の視点であるが、「青い目人形」に寄せた人々の思いやアンケートに答えたり手紙を下さったりした方々への思いや願いを受け止めた活動をしているかという点をこのテーマでは評価の柱としていく。

(8) 成果と課題

①S55に発見されてから名前の分からなかった人形の名前がアンケート調査の結果「メリー」と分かったり、探したい人を電話で捜し当てたり協力して自分たちの力で解決していく楽しさを学んだ。また、お便りをいただいた方への思いも文面から感じることができた。
②子ども達の「青い目の人形」に寄せてやってみたい事が卒業までの間にどれぐらい可能か。（時数等の関係も含め。）

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学　校の特色に応じた課題